

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本 事業 体系	計画コード	事業名		部名	総合政策部	
	17066	リニア中央新幹線整備促進事業		課名	政策課 政策調整G	
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		財務 科目 目	会計	01:一般会計
	基本施策	05:広域的な交通拠点性の強化			款	02:総務費
	施策の方向	01:リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進			項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-		目		07:企画費	
事業予定期間	H 21 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等				

目的 概要	対象	市民・リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議	
	目的	リニア中央新幹線の三重・奈良ルートでの名古屋・大阪間の早期開業と市内停車駅設置の実現に向け、市民・企業・商業者と一体となった積極的な誘致活動を展開するとともに、市民の意識醸成を図る。	
概要		リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議への活動支援や県期成同盟会等との活動を通じ、リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業及び県内の概略ルートや駅の概略位置の早期公表、市内停車駅誘致に向けた活動を行うとともに市民の意識醸成のためのPR活動を行う。また、駅誘致の決定後、リニアを核としたまちづくりに向けて円滑に取り組めるよう、情報収集やリニア中間駅を生かしたまちづくりの可能性に関する調査を実施する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等 ・シンポジウムの開催 三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席 市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察 ○PR活動 ・PRグッズの作成	市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等 三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席 市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察 ○PR活動 ・デジタルサイネージの導入 ・デジタルサイネージコンテンツの作成	市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等 ・シンポジウムの開催 三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席 市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察 ○リニア中間駅を生かしたまちづくりの可能性に関する調査 ○PR活動 ・PRポスターの作成 ・デジタルサイネージコンテンツの拡充	
	年度実績	○市民会議への補助金交付 1,262千円 ○三重県期成同盟会等への会議の出席 ○市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体(中津川市)の視察 ○PR活動 ・PRオリジナルテープの作成(600巻)	市民会議への補助金交付 1,200千円 三重県期成同盟会等の会議への出席(書面含む。) 市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ○PR活動 ・デジタルサイネージを活用したPR		
事業の計画・実績	計画額	事業費	3,000千円	1,700千円	10,900千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	2,900千円	1,395千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	1,607千円	1,386千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費	4,945千円	4,939千円	0千円	
	一般職員	4,945千円	4,939千円	0千円	
	所要人員	0.63	0.63		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		6,552千円	6,325千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会への出席回数	計画値 1	実績値 1	1
			単位 回	回	回
	名称	リニアに触れた親子の数	計画値 90	実績値 87	90
		リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議が実施するイベントへの親子参加者数	単位 人	人	人
	名称		計画値	実績値	
			単位		

事業の改善	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 リニア中央新幹線の全線早期開業と市内停車駅誘致に向けて、関係機関と連携を図りながら積極的な推進活動を行うとともに、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」を通じたPR活動等を積極的に実施する。また、当市民会議の会員拡大を促進する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 全国・県のリニア建設促進期成同盟会等と連携を図り、中央要望などリニア早期全線開業に向けた継続的な取り組みを行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響でPR行事の開催は出来なかったが、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」への活動支援を通じて、JR亀山駅前への大型PR看板の設置やPRグッズの配布、リニア亀山市民会議会報の全戸配布などPR活動を展開した。また、機会を捉えて市内事業所等へ当市民会議への参画を呼びかけた。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 全国・県のリニア建設促進期成同盟会と連携を図るとともに、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に対し補助金を交付し、リニア中央新幹線の早期全線開業や市内停車駅誘致に向けた取り組みを推進した。新型コロナウイルス感染症の影響により、リニア亀山市民会議によるリニア親子学習会等のPR行事が計画通り実施できなかったが、JR亀山駅前への大型PR看板の設置をはじめ、PRグッズの配布、会報の全戸配布等のPR活動を展開したほか、市役所玄関ロビーでデジタルサイネージによるPRを実施し、市内停車駅誘致の機運醸成に繋がった。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」をはじめ、県等関係団体と連携したリニア誘致の継続的な官民一体の取り組みが功を奏し、「三重県リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」において、本市が県内唯一の県内駅位置候補に決定され、本市において駅候補地の検討が進められることとなった。これにより、長年に亘り取り組みを進めてきたリニア市内停車駅誘致が新たな局面を迎えることとなり、大きな取組成果となった。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 本市が「三重県リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」において、県内駅位置候補に決定されたことを受け、一層、関係団体と連携した誘致活動や市民機運の醸成に繋がる取り組みを展開していく必要がある。また、これを好機と捉えた中で、駅候補地案を含むリニア駅を生かしたまちづくりに関する検討を進めていく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 県等の期成同盟会との連携強化を図る。また、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」における官民一体となった活動を通じて、PR活動やシンポジウムの開催などを積極的に実施するとともに、当該組織の会員拡大を図る。更には、リニア駅候補地案の検討をはじめとするリニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査を実施する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 リニア中央新幹線の早期全線開業及び市内停車駅誘致に向け、より効果的な誘致活動が展開できるとともに、一層の機運醸成が図られる。	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 大平 守
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	B	B	
	成果	A	A	B	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		1,395 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	1,395 千円
	令和3年度への繰越額	千円